特集

約束の道

大村朱澄・努力でつかんだロンドン行きの切符

【朱澄さんが帰郷。住民に決意と感謝述べる】

ロンドンまでの道のりを歩める「幸せ」 一つ一つ壁を乗り越えていきたい

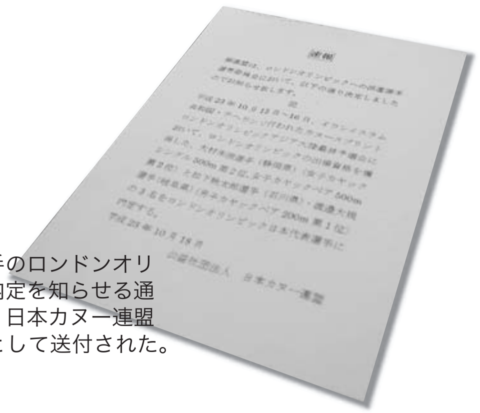
11月23日に開かれたカヌー体験教室での一枚。参加者に、レーシングカヌーの速さを披露すると大きな歓声が沸き起こった。思わず照れ笑い。

世界最高のスポーツの祭典

正式名称「オリンピック競技大会」。４年に1度開かれる世界最高のスポーツの祭典だ。夏季大会と冬季大会があり、国際オリンピック委員会（ＩＯＣ）が主催。日本では、単にオリンピックと呼んだり、そのシンボルマークの形から「五輪」と呼んだりするのが一般的となっている。

２０１２年の開催地はイギリスの首都ロンドン。ロンドンでは１９０８年、１９４８年にも開催されており、同じ都市で３回開かれるのはオリンピック史上初。大会会期は7月27日から8月12日。期間中は26競技、３００種目が実施される。出場する選手は母国の代表という誇りを持って記録に挑み、メダルを争う。

このロンドンオリンピックの出場枠を争うアジア大陸最終予選会は去る10月14日、イランイスラム共和国のテヘランで開催された。カヌースプリント・フラットウォーターレーシング女子日本代表の大村朱澄さん（田代出身・川根高卒・早稲田大）は、女子５００㍍カヤック１人乗りと同２人乗りの２種目に出場。２位という成績を収め、ロンドンオリンピックの出場枠を獲得した。この結果を受け、朱澄さんは日本カヌー連盟から五輪代表としての内定を受けた。



▶大村朱澄選手のロンドンオリンピック代表内定を知らせる通知。10月18日、日本カヌー連盟から「速報」として送付された。

ロンドン見据え動き出す

吉報を手に帰国した朱澄さんが、佐藤公敏町長を訪問したのは、大会から10日が過ぎた10月24日のこと。久々の対面に笑顔を見せながらオリンピック出場を報告した。

「最終予選会で２位に入賞し、ロンドンの出場枠を獲得することができました。その後、日本カヌー連盟から五輪代表の内定を受け取りました。皆さんのご支援、ご声援が力になり、たどり着くことができました」。

佐藤町長は「小学生の頃からの夢を見事実現させましたね。第一報を聞いたときは涙が出ました。本当におめでとう」と、その快挙をねぎらいながら、２人はしばし思い出話に花を咲かせた。

この後、朱澄さんは１カ月ほど本町に滞在し、接岨湖や川根高校で自主トレーニングに励んだ。産業文化祭やふるさと祭りではオリンピック出場報告会が開かれた。見守る来場者に向かって、決意を胸にあいさつする朱澄さん。

「オリンピック出場は、幼い頃からずっと目標でした。日本代表の一人として、この道のりを歩めるのは本当に幸せなこと。皆さんの顔を思い浮かべながら、一つ一つ壁を乗り越えていきたいと思います。本戦までトレーニングに励み、皆さんにいい結果を報告できるよう精いっぱい頑張ります」と述べると、来場者から大きな歓声と拍手が送られ、会場全体が喜びに包まれた。

朱澄さんは11月下旬、再び東京へと向かった。これからロンドンに向けてトレーニング漬けの日々を送っていくという。本町として初のオリンピック選手になった朱澄さん。ここまで、どんな道のりを歩んできたのだろうか。

▲産業文化祭で、来場者と笑顔をかわす朱澄さん。オリンピック出場という快挙をみんなで一緒に喜んだ。

佐藤公敏（きみとし）町長

幼い頃から練習に励む姿をよく見ていました。本当におめでとう。

私の自宅近くの湖で、小学生だった朱澄さんが朝も暗いうちからカヌーを浮かべて練習する姿をよく見かけていました。すごいなあといつも感心しながら見ていたんです。

川根本町の住民みんなが朱澄さんの「ロンドンオリンピック出場」を期待していました。その期待に見事応えてくれた朱澄さん。大きなプレッシャーの中、本当に頑張ってくれました。第一報を聞いたときは、思わず涙が出ました。本当にうれしかった。

私たちも朱澄さんの背中を後押しします。これからも頑張ってくださいね。

カヌーの原型は小舟

カヌーは、エスキモーやカナダのインディアンが、狩猟や輸送に用いた小舟が原型となっている。特に欧州各国では盛んなスポーツ。日本でも普及が進んでいる。現在全国にカヌー協会が設立され、第37回国民体育大会島根大会からは「カヌー競技」が正式種目として採用された。

カヤックとカナディアン

カヌーには、カヤックとカナディアンの２種類がある。❶カヤックでは、こぐ人は艇の進行方向に向かって座り、パドルの両端にある水かきで左右交互に水をかきながら進む。レース用の艇には舵があり、足で方向を調整する。

❶カヤック

一方、❷カナディアンではこぐ人は立て膝の姿勢で、片側だけに水かきが付いたパドルで艇の片側だけをこぎ、同時に方向も整えながら進む。

❷カナディアン

ボートとカヌーの違いは、ボートではオールが艇に固定されているが、カヌーのパドルはどのタイプであっても固定されていない。また、ボートは操縦する人に対して後ろ向きに進むが、カヌーは全て前向きに進む。